

令和3年度就職先調査 実施報告書

至誠館大学 進路支援委員会

1. 調査について

本調査は、下記の規程に基づくものである。

至誠館大学卒業アンケート等の実施に係る規程 第4条

就職先アンケートは、アンケート実施年度から3年以内の各年度において、各専攻の特色等を考慮して本学が選定した企業等に対して、卒業生に係る評価、就職先が必要とする及び学生時代に身につけておくべき能力その他の本学の教育内容等に関する意見を聴取し、もって本学のディプロマ・ポリシー、学修成果等が各社会等から要請される人材の育成に適したものになっているかの検証に資するものとする。原則、各年度の7月から9月までの間を目処に実施するものとし、当該学期中にアンケート結果を分析する。

ただし、令和3年度は本学が「現代社会学部現代社会学科」に名称変更したことにともない、アンケート調査を改めて設計することとし、3専攻から卒業生を1名選出し就職先に対して聞き取り調査を実施することとした。また、今回の調査は新型コロナウイルスの感染拡大防止を考慮するため、山口県内の企業・法人に限定し、卒後3年以内に限らず訪問調査を実施することとした。

2. 調査実施について

(対象) 卒業生（各専攻から1名選出）が就職している企業・法人。

(方法) 教職員が就職先企業・法人を訪問し、卒業生の上司等に聞き取り調査。

(内容) 大学のディプロマ・ポリシー（DP）の各項目に対して、「十分に発揮されている」「ある程度発揮されている」「あまり発揮されていない」「発揮されていない」「わからない」と5つの回答を設定し、聞き取りを実施した。また、「採用にあたり重視する点」や「至誠館大学に望むこと」もたずねている。

令和3年度就職先調査一覧

種別	企業・法人 所在地	面談者	卒業生・専攻・資格	実施年月
児童福祉施設	山口県	施設長	2018年度卒業生・子ども生活学専攻・ 保育士資格	2021年10月
障害者支援施設	山口県	副施設長	2014年度卒業生・ビジネス文化専攻・ 社会福祉士資格	2021年12月

留意点

- ・スポーツ健康福祉専については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施できなかった。

3. 調査結果

3-1 子ども生活学専攻卒業生

(1) 大学 DP を満たす人材かどうか

課題を探究するための知識・技能	あまり発揮されていない
同僚、顧客（クライアント）等の考えを受容する柔軟的理解や関わり	ある程度発揮されている
多角的に分析するための、論理的な思考および判断	ある程度発揮されている
豊かなコミュニケーション能力	ある程度発揮されている
業務・役割遂行における主体的な行動	ある程度発揮されている
同僚、顧客（クライアント）等と協調・協働した行動	ある程度発揮されている
誠実に物事に取り組む	あまり発揮されていない
業務等に求められる意義等を正確にとらえることのできる教養	ある程度発揮されている

(2) 採用にあたり重視していること

採用においては、対人援助の業務であるため、トラブルを避けるためのポイントを重視している。具体的には以下の2点である。

1. きちんと受け答えでき、丁寧に自分の意見を他人に伝えることができる。
2. 自分のパーソナリティを理解できているか

(3) 至誠館大学の学生に望むこと

知識や技能を育てる仕組みは職場内で整備されているため、学生には「他者のことを理解し、受け入れること」を求めたい。

3-2 ビジネス文化専攻卒業生

(1) 大学 DP を満たす人材かどうか

課題を探究するための知識・技能	ある程度発揮されている
同僚、顧客（クライアント）等の考えを受容する柔軟的理解や関わり	ある程度発揮されている
多角的に分析するための、論理的な思考および判断	ある程度発揮されている
豊かなコミュニケーション能力	ある程度発揮されている
業務・役割遂行における主体的な行動	十分に発揮されている
同僚、顧客（クライアント）等と協調・協働した行動	十分に発揮されている
誠実に物事に取り組む	十分に発揮されている
業務等に求められる意義等を正確にとらえることのできる教養	ある程度発揮されている

(2) 採用にあたり重視していること

- ・ 大学内である程度専門的知識を身につけていること

- ・目で見た物・耳で聞いた物・体感し得た物を正しく理解できる素直さ
- ・コミュニケーションスキル
- ・積極性と責任性

(3) 至誠館大学の学生に望むこと

- ・現在、大学生の採用を積極的に実施しています。
- ・自己成長を目指している方には是非入職していただきたいと思っています。